

かがんぞ

議会だより No.144

町民のみなさまへ	P 2
令和2年度予算	P 4
予算特別委員会・議案質疑	P 6
3月定例会	P 7
委員会質疑	P 8
研修報告	P 9
議決結果	P 10
議会のうごき	P 11
苅田町歴史探検隊・あとかき	P 12

予定されていた一般質問の順位と質問要旨 (令和2年第1回定例会)

質問者氏名	質問要旨
白石 学	1 新年度予算編成 2 会計年度任用職員制度
尾形 均	1 荻田町公共施設等総合管理計画 2 安全、安心な街づくり
屏 正隆	1 子育て世代について 2 学校教育について 3 人材育成について
小山 信美	1 防災対策 2 産後ケアについて 3 「おくやみコーナー」の設置
友田 敬而	1 新型コロナウイルスについて
岩谷 潔	1 空家対策 2 子育て支援 3 農業振興
井上 修	1 JR小波瀬西工大前駅について 2 役場本庁舎について 3 城南の町営住宅について 4 白川地区・片島地区の活性化について
武内幸次郎	1 山積する課題への取り組み状況
榎谷 忠明	1 空家問題について 2 定住化施策について 3 企業誘致について
梶原 弘子	1 国保税について 2 難聴者対策を願う 3 町有地の竹林と周辺草刈り整備を願う 4 町内企業対策をきく
花見 文敏	1 荻田町三大祭りについて 2 新型コロナウイルスについて 3 町内の公園整備について 4 災害対策について 5 長寿祝い金について

町民のみならず

今回の議会対応についてお知らせ致します。
新型コロナウイルス対策について、荻田町議会では3月5日から10日間諸活動を自粛するという事を議会運営委員会決定事項により、3月5日から11日に予定されていた一般質問を中止することが余儀無くされました。非常に残念な思いであります。

議員の町政への審議権もさる事ながら町民の皆様への行政全般に対しての知る権利を含め、町民参画の機会喪失を招いた事について議会として深くお詫び申し上げます。
真に人類共通の敵ともいえる新型コロナウイルスの対策について万全を期すと共に、町民の皆様の一層のご協力、「3つの密」に細心の注意をはらいながらこの難局を乗り越え一日も早い日常を回復して頂きたいと祈念致します。

荻田町議会議長 坂本東二郎

感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に 爪は短く切っておきましょう 時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクが
ない時
どっさの時

マスクを着用する (口・鼻を覆う) | ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う | 袖で口・鼻を覆う

何もせずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う

咳やくしゃみを手でおさえる

3つの「密」を避けましょう!

新型コロナウイルスへの対策として、**クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。**
日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

①換気の悪い
密閉空間

②多数が集まる
密集場所

③間近で会話や
発声をする
密接場面

3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。

首相官邸 | 厚生労働省 | 厚労省 コロナ | 検索

議員がチェック 今年の注目事業

防災力の向上



ため池ハザードマップの改定

2,200万円

災害発生時の
避難対策

子育て支援



保育士の拡充

200万円

保育士を確保することで
待機児童の解消

地域力の強化



地域集会所の建て替え

5,020万円

住みよい地域社会の
実現

英語教育の充実

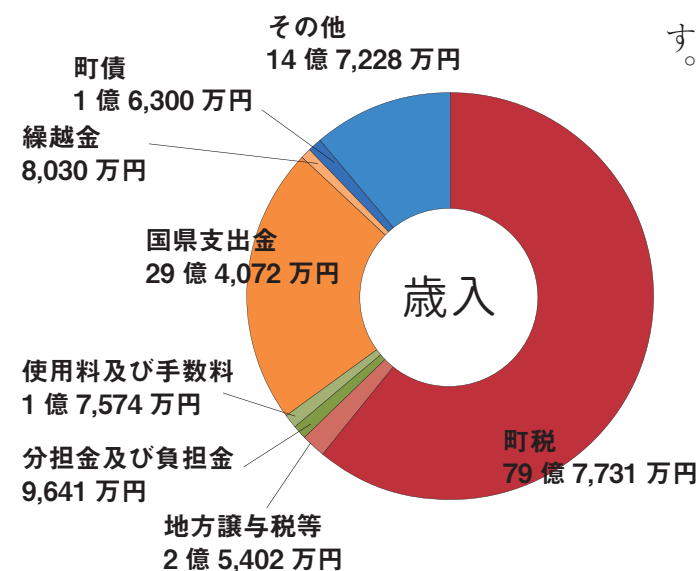


外国語指導助手

2,068万円

児童・生徒の英語発音や
国際理解教育の向上を図る

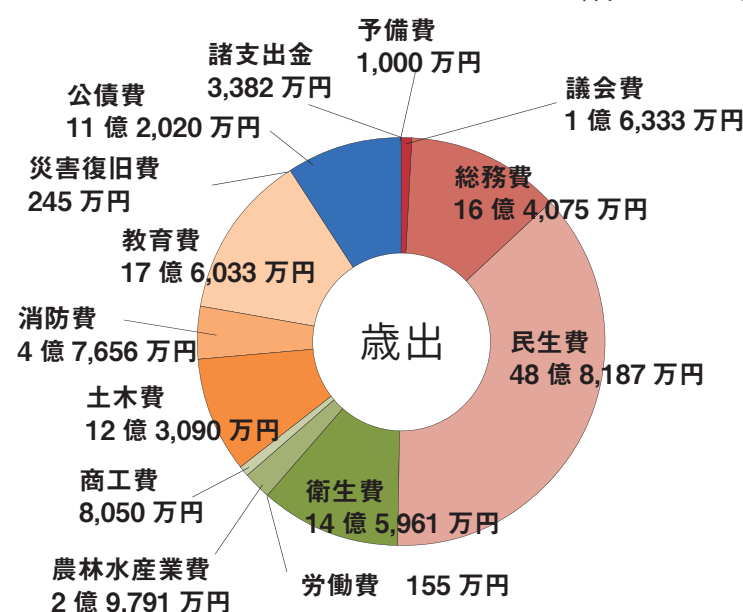
予算総額 131億5,978万円 (前年度比2億5131万円増)



3月定例会は、2月26日から3月25日までの会期で開かれ、令和2年度予算をはじめ、国民健康保険税率の改正や、町道路線の認定などを審査し、いずれの議案も可決・同意しました。

令和2年度の一般会計予算は、131億5,978万円と前年度比1.9%の増で、6年ぶりに130億円を超えた予算額となっています。

予算特別委員会での主な審議内容及び議案に対する主な質疑は6ページに、議決結果は10～11ページに掲載しています。



	前年度比
一般会計	131億5,978万円 1.9%
国民健康保険特別会計	32億1,551万円 1.5%
後期高齢者医療特別会計	5億1,964万円 ▲0.7%
介護保険特別会計	27億4,366万円 3.3%
土地区画整理事業特別会計	7億481万円 32.8%
住宅新築資金等特別会計	285万円 ▲1.3%
苅田臨空産業団地開発事業特別会計	110万円 ▲25.1%
京都郡公平委員会特別会計	70万円 5.4%
合計	203億4,805万円 2.8%

令和2年度予算

子育てに優しい
新年度予算可決!

予算特別委員会

令和2年度菟田町一般会計予算

Q 菟田駅から空港へのコミュニティバスの運行の検討は。
A 以前も利用客が少なく、コスト面も含め計画はない。
Q 「集会所施設整備補助金」について、何力所か。
A 与原下・提・桜ヶ丘の3カ所で、2千万円を上限に、3分の2を補助する。
Q 「老人クラブ補助金」について、昨年度より減額になっているが、理由は。
A 老人クラブの団体数は同じだが、加入する会員数の減少により、減額となっている。

Q 「菟田町中心市街地空き店舗対策事業補助金」の具体的な内容は。
A 空き店舗の改装費や家賃等の一部を補助する。5店舗を見込んでいます。

Q 消防団員の数は足りているのか。
A 団員数は、115名で充当している。

Q 「外国語指導助手委託料」について、人数と増減は。
A 3人から1名増やし、4人を予定している。

Q 「プログラミング教育用機器借上げ料」の内容は。
A 白川小学校のモデル事業で、ネットワー環境の整備、タブレット30台、教材用ロボットの借上げなど。

Q 「町民プール指定管理委託料」について、利用人数と収益は。
A 値上げにより、利用者数は減っているが、収入は増えている。

Q 前年度より、保険料が減っている理由は。
A 2年おきに見直しをしており、保険料率の変更による。

Q 公共下水道事業について、これまでの進捗状況は。また今後認可区域を広げるのか。
A 現在、予定の70%を終了している。また、認可区域は今後広げていく。

Q 町内2カ所の浄水場や、京築地区水道企業団との責任水量は料金に影響をおよぼしていないか。
A 責任水量を減らすことは難しいが、トン当たり178円から120円になった。

Q 今年度中に完成できないのであれば事業者の再選考をすべきではないか。
A 年度内の完成が見込めない理由も申請者の責任ではなく、国庫補助者の意向も確認した上で繰越が行う施設を建設するものであり、事業者も保育士確保の準備が整っていたので事業継続の判断をした。

令和2年度菟田町水道事業会計予算

Q 町内2カ所の浄水場や、京築地区水道企業団との責任水量は料金に影響をおよぼしていないか。
A 責任水量を減らすことは難しいが、トン当たり178円から120円になった。

議案質疑

平成31年度一般会計補正予算(第3号)

Q 社会福祉整備助成金とは。
A 与原に建築中の小規模保育園。
Q 工事が止まっているが、なぜか。
A 建築途中にて、建築物と建築予定地の大きさの問題などが発生したため。
Q 予算を繰り越す理

由は。
A 事業者と協議を重ね、年度内の完成を目指したが、見込めないため。
Q 小規模保育事業者を決定した経緯は。
A 2社より応募があり、プロポーザル方式により与原保育園に決定。
Q 今年度中に完成できないのであれば事業者の再選考をすべきではないか。
A 年度内の完成が見込めない理由も申請者の責任ではなく、国庫補助者の意向も確認した上で繰越が行う施設を建設するものであり、事業者も保育士確保の準備が整っていたので事業継続の判断をした。

3月定例会

補正予算

平成31年度一般会計補正予算(第4号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億6841万5千円を追加し、補正後の総額は145億5409万1千円。また、閉会日に平成31年度一般会計補

正予算(第5号)を追加し、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ987万円を追加し、補正後の総額は145億6396万1千円。
条例制定
 ● 菟田町歴史資料館の設置及び管理に関する

条例改正

● 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例
 ● 菟田町歴史資料館の公務災害の算定根拠に、給料を含むこととなったため、所要の改正

条例改正

● 菟田町会計年度任用職員の給与、費用弁償及び旅費に関する条例
 ● 菟田町印鑑登録及び証明に関する条例
 ● 菟田町介護保険条例

その他の議案

● 町道路線の認定
 ● 新たに生じた土地の確認、町の区域の変更
 ● 財産の取得
 ● 指定管理者の指定

人事案件

● 固定資産評価審査委員会委員の選任
 ● 人権擁護委員の候補者の推薦
 ● 副町長の選任
 ● 教育委員会教育長の任命
 ● 教育委員会委員の任命

***平成31年度補正予算**

【一般会計(第4号)】 歳出(増額補正の主なもの)	
・港湾整備事業負担金	1395万円
・小学校施設改修工事	8140万円
・小学校ICT環境整備工事	1億6552万円
・中学校施設改修工事	1485万円
・中学校ICT環境整備工事	6691万円
・公共施設整備基金積立金	5億円
【一般会計(第5号)】	
・新型コロナウイルス対策関連	987万円
【国民健康保険特別会計(第4号)】	
・一般被保険者療養給付費	2000万円
【介護保険特別会計(第4号)】	
・居宅介護サービス給付費等	3050万円

平成31年度菟田町一般会計補正予算等40件(2月26日~3月25日)

条例の制定
 国の地方文化財保護法の推進力の強化を図る方針に沿って、更なる適正な管理のため制定

とを理由に差別されないよう、印鑑登録資格の適正化を図るため、所要の改正。
 ● 菟田町国民健康保険条例
 県から提示された標準保険税率と現行の保険税率等との間に乖離があり、国民健康保険税率等を改正する必要があるため、所要の改正。

せ、低所得者の保険料の更なる軽減強化を行うため、所要の改正。
 ● 町道路線の認定
 ● 新たに生じた土地の確認、町の区域の変更
 ● 財産の取得
 ● 指定管理者の指定

菟田町総合福祉会館、菟田町民温水プールの指定管理者を、それぞれ指定。
 ● 固定資産評価審査委員会委員の選任
 ● 人権擁護委員の候補者の推薦
 ● 副町長の選任
 ● 教育委員会教育長の任命
 ● 教育委員会委員の任命



ICT研修の様子

総務常任委員会

▼平成31年度荻田町一般会計補正予算(第4号)

【総務費】
Q プレミアム付商品券販売業務等委託料の理由は。

A 申請が少なかった。

【公債費】
Q 公債費は、当初決めた数字で返済していくと思うが、補正理由は。

A 金利を補正している。元金についての補正はない。31年度借り入れ金利が減少したため、減額補正。

【町税】
Q 固定資産税を約3億5千万円補正し

ているが。当初から見込めると思うが。

A 当初予算編成する際に、歳入を全て出し切って、合わせて歳出を作ると、その後の補正対応ができない。税については、少し余裕を見て、3月の補正で対応する。

【繰越金】
Q 決算の繰り越し見込額は。

A 現在確定はしていない。

産業建設常任委員会

▼町道路線の認定

Q 町道路線の決定手順は。

A 事前に協議を行い、完了後帰属してもらう。

▼新たに生じた土地の確認について

Q 経緯の説明を。

A 北九州空港の海上保安庁の基地が隣接地にさらに拡大するのに伴い、新たな土地とするもの。

▼財産の取得について(コミュニティバス)

Q 今回ですべて買い替えは終了なのか。

A 4台中最後の1台。Q ルートの見直し検討協議は年何回か。A 運行委託契約が5年に1回であり、来年度、新しい契約を

予定。現在内部で検討中。

Q 内部の検討内容は。

A 時刻の問題、ルートの問題を前向きに精査していきたい。

▼平成31年度荻田町一般会計補正予算(第4号)

【土木費】

Q 港湾整備事業負担金は今後も継続されるのか。

A 町として非常に大事な事業であり、定期的に浚渫を続けていかななくてはならないため。

▼平成31年度住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)

Q 特別会計は今後も継続するのか。

A 債権回収が必要な期間は継続する。

厚生文教常任委員会

▼平成31年度荻田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

Q 最大でいくら上がるのか。

A 最大は不明だが、平均すると一人3千円程度上がる。

Q 保険税率は毎年上がるのか。

A 今年と同じようなデータが示されれば上がると思う。

▼荻田町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

Q 保険料が引き下げられた理由は。

A 低所得者層への配慮と消費税増税に伴う負担軽減の

ため。

▼平成31年度荻田町一般会計補正予算(第4号)

【民生費】
Q 長寿祝金の減額理由は。

A 221人の見込みに対し、実績が197人となったため。

【教育費】
Q 奨学資金貸付金の減額理由は。

A 新規貸付者14名予定していたが、実績が1名だったため。

総務常任委員会視察研修▷▷▷愛知県一宮市、岐阜県瑞浪市(1月30・31日)

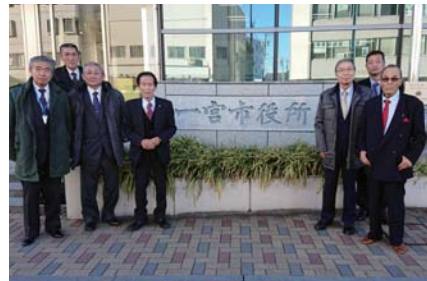
視察内容 防災・減災

一宮市では、浸水の疑似体験ができるVR動画を活用して市民の防災意識の高揚を図る事業と防災・災害復興拠点として震度6強にも耐えられる免震構造の本庁舎の建て替えについて、視察を行った。

瑞浪市では、市域の70%が山林で起伏に富んだ地域であることを考慮し、「大雨、暴風時には、屋外の防災無線が聞き取りにくい」、防災情報を家の中でも確実に聞けるようにし

てほしいとの市民の要望を受け、280MHz防災ラジオシステムを導入して各家庭に配布し、防災情報のみならずオレオレ詐欺等の注意喚起の呼びかけ等にも活用しているとのことである。

今後の議員活動に生かしていきたい。



産業建設常任委員会視察研修▷▷▷沖縄県那覇市(2月5・6・7日)

視察内容 航空機整備・IT産業

沖縄県は那覇空港に航空機整備が可能な地上3階建ての格納庫を建設。民間の航空機整備会社『MRO Japan』と賃貸借契約し、国内及び東南アジア中心のLCCマーケットとして捉え国内初の航空機整備事業展開している。

次に、那覇市の『IT創造館』を訪問。創造館はIT産業の振興施設として那覇市が平成17年に設立。現在まで67社の企業が卒業

し、市内で操業している。また、未来のIT人材の育成を目的とし、小中学生を対象としたIT関連事業に取り組んでいる。

視察を通して、本町も北九州空港の利活用及びIT人材の育成について、今後どのような支援ができるか、議会の中で議論をしたいと思う。



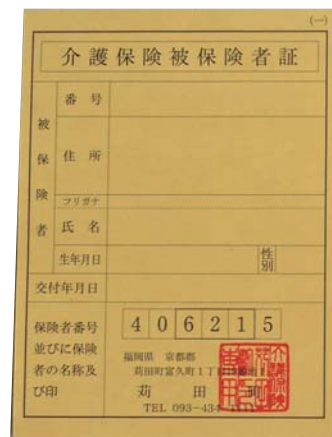
厚生文教常任委員会視察研修▷▷▷兵庫県明石市・岡山県高梁市(1月21日・22日)

視察内容 保育士確保の施策

兵庫県明石市では、近隣に大都市があるため保育士の確保が困難であり、保育士確保の優遇策を互いに競い合っている状況とのことであった。首長の公約である待機児童解消を目指し、あらゆる子育て施策を行っていた。明石市のような、子育て政策をすべて行うことは本町では難しいと思えたが、何か問題に直面したときは、参考になる自治体であると確信した。

次に岡山県高梁市では、高校・大学が存在し地域の若者を集積してはいるが、卒業後の若者の定着率が低いことが課題であり、卒業後の高梁市への定着を狙い、給付型奨学金制度を設けていた。

実情が違う2つの自治体から学んだことを、今後の議論に生かしていきたい。



介護保険被保険者証



議会だより かんだ (144号)
令和2年4月25日発行

編集・議会広報特別委員会
発行責任者・坂本東二郎

〒800-0392 福岡県苅田町富久町1-19-1
☎093-434-1981 FAX093-434-2099

苅田町 歴史探検隊

宇原神社

うはらじんじや

御祭神は、左殿彦火々出見尊、右殿豊玉姫尊。そして正殿は彦波瀲武鸕鷀草葺不合の尊を頂き、縁起によると、遠く神代に御鎮座されたものとの事。

「魏志倭人伝」の記事との関連を考えると大変興味深い「宇原神社」は元々石塚山古墳の西側付近にあったとされている。その当時、社殿はなく、神域であり「浮殿」と呼ばれていた。寛治四年(西暦1090年)六月、御神託により官を浮殿の地から西戌の方位(西北西)の現地に移すことになった。

苅田町には国指定重要文化財の石塚山古墳がある。石塚山古墳より出土された「三角縁神獣鏡」が七面同時に出土した。銅鏃と素環頭大刀の残欠が神宝として保管されている。

三角縁神獣鏡の背面には中国の神仙思想に基づく図柄が表現されている。中国(魏)種鏡式に沿った重厚で

精細な造りで船来鏡と見られる。

また宇原神社には古くから山車(やまぐるま)の歴史もあり、鉦卸(かねおろし)でスタートし各地区の氏子たちが神幸祭の始まりを告げる鉦を鳴らしながら宇原神社に集まり、祭りの安全を祈願し鉦をたたきながら各地区へと戻る。嘉吉二年(西暦1442年)に祭祀が始まる。村々より笠鉦(かさかね)が出る。慶長二年(西暦1597年)に村々が五穀豊穡、国家安全、人畜平安を祈願するため鉦山(かねやま)を作成した。1973年県無形民俗文化財に指定される。

行事に合わせて山車の装飾が三度変わる。まず一回目は灯山(ひやま)と言い、ちょうちんを取り付け夜の町を巡行する。二回目は幟山(のぼりやま)と言い、魔よけの赤い幟を立て



て町内を回る。そして最後は岩山(いわやま)と言い、武者人形や花で飾りつけ神幸祭に参上。クライマックスはこの岩山の突き当てである。昔は九基の鉦山だったが今は十四基で山車と呼ばれている。山車同士の突き当ては観客の心に響き、会場を盛り上げている。

表紙の写真



大熊公園の桜とひよどり

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 沖永 義樹 |
| 副委員長 | 友田 敬而 |
| 委員 | 梶原 弘子 |
| 委員 | 小山 信美 |
| 委員 | 榎谷 忠明 |
| 委員 | 屏 正隆 |
| 委員 | 村上 智宣 |
| 委員 | 末石 伸二 |

あとがき

桜も美しく咲きそろそろ季節を迎える中、海外よりもたらされた「新型コロナウイルス感染症」拡大によって、様々な弊害がもたらされています。いつ・どこで発症するかわからないという不安があります。とりわけ我が町は昼夜の人口差が大きく、それだけ人の出入りが大きい分、リスクを負うことが心配されます。公共施設の再開も町民の皆様が待たれている中、この「感染症」の終息が一日も早いことを望みます。

梶原弘子